

第1回竹宵まつり百万人のキャンドルナイト in 南信州

取り組みに至る背景・事業の目的

「百万人のキャンドルナイト」は2003年に提唱されて以来、当地域においても環境NPOや有志の団体が個々に実施し定着しつつあった中、飯田市が「環境モデル都市」に選定され、より一層住民に影響を及ぼすことができる環境問題を考える継続的な取り組みが求められていた。

また、飯田市街地など街の賑わいを求め、実践する様々な団体が「環境」という観点で新たな取り組みをはじめており、「街の賑わいと環境」をテーマとする新しい取り組みが実現できる要素が整いつつあった。

このような中、地球温暖化問題を考えるきっかけともなる「百万人のキャンドルナイト」を実施し、併せて地域住民の参加による楽しめる街の賑わいを創出することを目的とし、「竹宵まつり百万人のキャンドルナイト in 南信州」を行った。

事業内容

飯田市の「環境モデル都市」選定を機会に、これまで各地で行われていたライトダウンイベントを、より地域の人々に影響力を持つイベントとして定着させるため、広範な団体による実行委員会を組織し、りんご並木をメイン会場に「竹宵まつり百万人のキャンドルナイト in 南信州」として統一的去った。

事業効果

- 多くの団体に参加を呼びかけ、30団体・グループからなる実行委員会を組織することができ、今後の活動展開の基礎を築くことができた。
- 約5,000人の参加者を集め、「丘の上」のにぎわいを創出するイベント形態の一つとして地域の地域づくり団体と協働しながら開発できた。
- 長野県地球温暖化防止活動推進センターが実施する「さわやか信州エコグランプリ」に応募し、努力賞の評価を得た。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- ・竹宵をりんご並木に約4,000本陳列・点灯し、ライトダウン後の街の光景をビジュアル的にも美しいものとした。また、参加者の投票により優秀作品を表彰する竹宵コンテストを実施し多くの市民が楽しむことができる参加型のイベントとした。
- ・竹宵で使用した竹の竹炭活用、露店販売する食材の地元調達とリユース食器の使用などゼロエミッションを追求。
- ・一斉ライトダウンを通じ、環境問題に限らない多くの「気づき」を得るための工夫が必要。
- ・飯田市の市街地のりんご並木だけでなく地域内に多く拠点を築き、多くの市民・地域住民が参加できるイベントとすることが必要。

【選定のポイント】

統一的去にイベントを開催したことで、南信州地域の住民の温暖化防止に向けた意識を高めたことと街の賑わいの創出に貢献したことが評価できる。今後、更なる普及のため、環境問題を考えさせるイベントとして南信州全体を巻き込んでの活動が期待される。



| | | | |
|---------|---|-------|------------|
| 団体名 | 百万人のキャンドルナイト in 南信州実行委員会 | 事業タイプ | ソフト事業 |
| 連絡先 | 0265-24-4821 (NPO法人南信州おひさま進歩 谷口 彰) | 事業費 | 2,355,118円 |
| ホームページ | http://takeyoi.maika.in/index.html | 支援金額 | 1,800,000円 |
| メールアドレス | takeyoi_fes@lion.ocn.ne.jp | | |